

教育科目	生活文化		教育内容	生活文化			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 私たちの暮らしは年代や日本各地の地域性・その人の習慣によっても違いがある。また、一人一人の価値観の違いを知り、高齢者の時代の多様な生活や文化を学ぶ。更に、家族・福祉、衣食住、消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得する。						
授業概要	高齢者の家族間、家族構成、衣食住、消費生活の中の文化的、社会的、歴史的変化ではどのような生活文化であるか学習する。高齢者等、消費者を守る為の知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	2回	前期	回・後期	回
評定方法	小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護福祉士に求められる社会福祉に関する知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	教員作成資料						

教育科目	地域福祉		教育内容	地域福祉			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 市民の参加やネットワーク形成、ボランティアなど地域の課題解決に必要な知識や技術を習得し、地域づくりに実践的に貢献できる学習を目的とする。						
授業概要	地域に求められているものを踏まえ、個を支える地域をつくる視点、よい関係づくりの方法や良い雰囲気づくりの方法、また、一人ひとりの意欲の強化が行える支援ができる力を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	3回	前期	回・後期	回
	評定方法						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護福祉士に求められる社会福祉に関する知識を具体的に教授						
使用 テキスト等	「新版 よくわかる地域福祉」ミネルヴァ書房						

教育科目	介護福祉論Ⅱ		教育内容	介護福祉論Ⅱ			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	45 コマ	単位数	6 単位
授業目標	1. 尊厳の保持や自立支援について理解を深め、利用者が主体的に生きることを可能にする支援を学ぶとともに他者に共感し、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につける。また、介護福祉士として、他職種との連携や協働・ケアマネジメントなどをふまえて介護を展開できる能力を養う。						
授業概要	専門職としての基本的な考え方や姿勢となる尊厳の保持や自立支援について学び、介護を必要とする人の生活を支える意義の理解を深め、実践することを学ぶ。また、事例を通してケアプランやケアマネジメントの流れ、しくみを学ぶとともに他職種との連携を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	2回	後期	2回	前期	回・後期 回
	評価方法 小テスト・定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 介護施設における介護福祉士としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識と現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「介護の基本Ⅱ」中央法規						

教育科目	介護コミュニケーション技術Ⅱ		教育内容	介護コミュニケーション技術Ⅱ		演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 介護を必要とする人の疾病や障害の状態、それによって起こるコミュニケーション障害を理解し、特性に応じたコミュニケーション方法を事例を取り上げながら学ぶ。					
授業概要	コミュニケーション障害の状態や原因について理解し、利用者の特性に応じたコミュニケーション方法を習得する。また、利用者やその家族、多職種協働におけるチームのコミュニケーション能力を身につけるために必要な知識と方法を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	3 回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識・技術及び現場の実際を具体的に教授					
使用 テキスト等	「コミュニケーション技術」中央法規					

教育科目	生活支援技術Ⅱ 調理		教育内容	生活支援技術Ⅱ 調理			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 食文化や食生活の変化をはじめ、介護福祉士が食の支援をするうえで必要な知識・技術を養う。						
授業概要	調理の基礎、食品の調理を学び、調理の知識・技術を習得することや、栄養のバランスが整った衛生的でおいしい食事の提供ができるように学習する。また、疾病に合わせた調理や食事形態に合わせた料理が適切に提供できるよう学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	2回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護福祉士として介護現場で求められる知識・技術及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」中央法規						

教育科目	生活支援技術Ⅳ応用介護技術		教育内容	生活支援技術Ⅳ応用介護技術			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	50 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 生活支援に関する基礎的な知識や技術を習得し、利用者の心身状態のレベルを理解し、個別性を重視し潜在能力を引き出すことができるよう、自立に向けた援助とその根拠を明確にしながら学習することを目的とする。						
授業概要	さまざまな生活支援援助の基礎知識や技術を学び、利用者の心身状況に応じ、根拠ある援助を実践する力を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	2 回	後期	2 回	前期	回・後期 回
	評定方法 実技試験、小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 介護施設における介護福祉施設としての実務経験 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識・技術及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」「生活支援技術Ⅲ」中央法規						

教育科目	介護過程演習Ⅱ		教育内容	介護過程演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 介護過程の意義や展開の思考過程の学習を基礎とし、実際の生活場面での利用者の状況に応じた適切な介護の提供が出来るよう、他の授業で学んだ知識・技術を統合し、介護過程を展開、介護計画の作成ができることを目的とする。						
授業概要	さまざまな利用者の障害や心身の状況に応じた事例を用い、利用者の支援における介護の実践的展開を理解するために、介護過程を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期 2 回・後期 2 回		前期	回	後期	回
	評価方法 事例紹介・介護計画表、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 介護施設における介護福祉士としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識・技術及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「介護過程」中央法規、教員作成資料						

教育科目	介護総合演習Ⅱ		教育内容	介護総合演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 介護福祉士として必要な知識や技術を習得し、さらに質の高い対人援助サービスを提供できることを目的とする。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を立案、展開、実施することで、介護過程の一連の流れを学ぶ。 ・チームの一員として介護業務の理解を深める。 						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期 3 回・後期 1 回		
	評定方法 実習簿、課題、小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 介護施設における介護福祉士としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識・技術及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「介護総合演習・介護実習」中央法規						

教育科目	介護実習Ⅱ(20日)		教育内容	介護実習Ⅱ(20日)			実習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	80 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 介護福祉士として必要な知識や技術を習得し、さらに質の高い対人援助サービスを提供できることを目的とする。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画を立案、展開、実施することで、介護過程の一連の流れを学ぶ。 ・チームの一員として介護業務の理解を深める。 						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各実習先指導者評価・巡回教員評価						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 介護実習 介護福祉士として現場で求められる知識・技術を実習						
使用 テキスト等	「介護総合演習・介護実習」中央法規						

教育科目	発達と老化の理解		教育内容	発達と老化の理解			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	4 単位
授業目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。						
授業概要	こころとからだの構造・機能を十分に理解し、利用者の可能性を見出し、人間としての尊厳と自立の守られたその人らしい生活支援について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	5 回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「発達と老化の理解」中央法規						

教育科目	認知症の理解Ⅱ		教育内容	認知症の理解Ⅱ			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。						
授業概要	こころとからだの構造・機能を十分に理解し、利用者の可能性を見出し、人間としての尊厳と自立の守られたその人らしい生活支援について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	3 回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「認知症の理解」中央法規						

教育科目	障害の理解 I		教育内容	障害の理解 I			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。						
授業概要	肢体不自由のある人や内部障害・視覚障害・聴覚障害のある人の身体的・心理的影響について理解し、アセスメントの視野を学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	5 回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「障害の理解」中央法規						

教育科目	障害の理解Ⅱ		教育内容	障害の理解Ⅱ			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 障害がある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基礎的な知識を習得する。						
授業概要	障害の種類と特徴、心身と生活への影響を正しく理解し、障害がある人やその家族をサポートする社会資源の活用方法を学ぶ。また関係する医療職や福祉職とのチームアプローチの意義を理解し、支援技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	3回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「障害の理解」中央法規						

教育科目	こころとからだのしくみⅡ	教育内容	こころとからだのしくみⅡ	講義			
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数 15 コマ 単位数 2 単位			
授業目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。						
授業概要	身体各部の名称および各基礎知識を学び、こころとからだに対して理解し、実際の介護に役立てる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	3 回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「こころとからだのしくみ」中央法規						

教育科目	こころとからだのしくみⅢ		教育内容	こころとからだのしくみⅢ			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	○前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。						
授業概要	障害や加齢により生活に支障が生じた部分に働きかける、安全・安楽に支援できる方法を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト ○前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 3回・後期 回			前期 回・後期 回			
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	○実務経験を有する ・ ○専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「こころとからだのしくみ」中央法規						

教育科目	こころとからだのしくみⅣ	教育内容	こころとからだのしくみⅣ	講義			
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数 15 コマ 単位数 2 単位			
授業目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。						
授業概要	こころとからだの構造・機能を十分に理解し、利用者の可能性を見出し、人間としての尊厳と自立の守られたその人らしい生活支援について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	3回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「こころとからだのしくみ」中央法規						

教育科目	医療的ケア		教育内容	医療的ケア			講義
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	34 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。						
授業概要	介護福祉士が喀痰吸引・経管栄養の医行為の一部を業として行うことができるようになった背景等、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識を学ぶ。また、喀痰吸引・経管栄養の実施手順、留意点、救急時の対応方法などについて学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	4 回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる医療的知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	「医療的ケア」中央法規						

教育科目	医療的ケア演習		教育内容	医療的ケア演習			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。						
授業概要	医療的ケアを安全に実施することができるよう、喀痰吸引・経管栄養の実施、救急時の対応方法などについて学習し、技術を身につける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	2 回	前期	回・後期	5 回
	評定方法 実技試験、小テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 介護現場で求められる医療的知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	「医療的ケア」中央法規						

教育科目	キャリアアップ講習		教育内容	ビジネス能力（選択）			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	ビジネス能力を習得し、介護実践の基盤となるコミュニケーション力、教養、総合的な判断力及び豊かな人間性を身につける。						
授業概要	ビジネスとコミュニケーションの基本及び仕事の実践について学ぶ。実際に介護現場で行う基本的なビジネス能力を養う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	2回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 小テスト、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	教員作成資料						

教育科目	国家試験対策		教育内容	国家試験対策			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	41 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 国家試験での合格基準を満たすことができるよう、総合的に学習する。						
授業概要	介護福祉士国家試験対策問題や過去問題等を繰り返し行い、実力をつけることができる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	実力テスト	前期	回・後期	12 回	前期	回・後期	回
	評定方法 実力テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設に多いける看護師としての実務経験。 介護施設における介護福祉士としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識と現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	「介護福祉士国家試験 過去問解説集」中央法規 「法改正と完全予想模試」成美堂出版 「介護福祉士の直前予想問題集」TAC 出版 「予想模試&詳細解説」ナツメ社 他						

教育科目	キャリア演習Ⅱ		教育内容	キャリア演習Ⅱ・人間性と社会性Ⅱ			演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	福祉・社会Ⅱ（演習）		教育内容	企画マネジメントⅡ、式典参加、総合体育Ⅱ、事業所関連Ⅱ		演習
学 科 開講学年	国際介護福祉士 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 2. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 3. 総合体育を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。					
授業概要	企画マネジメント、式典参加、総合体育、事業所関連					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 介護施設における介護福祉士としての実務経験 介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						